

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	臨床検体を用いた CANCERPLEX-JP の性能評価試験
	研究目的	がん細胞の遺伝子変化を診断して患者の治療に活用する「がんゲノム医療」が我が国でも開始されましたが、検査に使用する診断医薬品（遺伝子パネル検査、を指します）には、未だ未だ改良する余地が多く残されています。この研究では、デンカ株式会社が開発中の新規がん遺伝子パネル検査の性能を既存のものと比較し、その正確性を示すことで、医薬品承認申請を行う際の資料とすることを目的としています。
	研究対象者	2010年～2020年4月までの期間に、神奈川県立がんセンターで肺癌及び胃癌の治療を受け、生検や手術により採取されたがん組織の病理診断、遺伝子診断を受けた方
	研究期間	西暦 2020年5月13日～西暦 2020年6月30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(病理診断、病理標本作製手法等) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	デンカ株式会社 井出陽一